

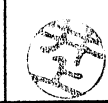

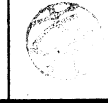



議長	局長	次長	主幹	主査
				

平成 29 年 4 月 24 日

養父市議会議長 様

議員氏名 谷 垣 満 

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 活動月日 平成 29 年 4 月 18 日 (火)
- 2 活動場所 舞鶴赤れんがパーク
- 3 活動者氏名 谷垣 満
- 4 活動内容 地方議会研修会 i n 海の京都 舞鶴市
「地方創世時代の政策と議会のあり方を学ぶ」 受講

13:00 ～ 17:10

(基調講演) 「地域から日本を変える」

講師：早稲田大学名誉教授 北川正恭 氏

(グランプリ受賞特別講演) 「地方創生と地域医療改革の実践」

講師：舞鶴市長 多々見良三 氏

(政策紹介) 「赤れんが、海・港を核とした観光産業の振興政策」

講師：舞鶴市産業振興部観光産業課

(議会先進事例報告①) 「ミッションロードマップと大津市議会の取組み」

講師：大津市議会局次長 清水克士 氏

(議会先進事例報告②)

「出張委員会、高校生フレッシュ議会」等

講師：福知山市議会議長 田中法男 氏

「政務活動費の後払い制と詳細な公開」等

講師：京丹後市議会議長 松本経一 氏





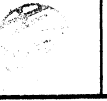
「子どもたちの声を市政に届けた子ども議会」等

講師：亀岡市議会議長 秦泰 孝 氏

「第 19 期舞鶴市議会活動基本計画」等

講師：舞鶴市議会議長 上野修身 氏



議 長	局 長	次 長	主 幹	主 査
				

別記様式

平成 29 年 4 月 24 日

養父市議会議長 様

養父市議会議員 谷 垣 満



研修成果報告書

養父市議会議員研修要項第 7 条の規定により、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 研修日時 平成 29 年 4 月 18 日 (月) 13:00~17:10
- 2 研修先 舞鶴赤レンガパーク
- 3 研修目的 マニフェスト大賞を受賞した舞鶴市の取り組みや同市の政策、また各自治体議会の先進事例を学ぶ
- 4 成果 (具体的に)

2016 マニフェスト大賞受賞の舞鶴市長講演は、医師から首長へ轉身し、4つの公立病院の再編において統合ではなく各地域に残し、連携により効率化と利便性を確保する、近隣市も含めた「広域医療」の思考は但馬においても流用可能な試みであると感じた。市政運営においても人事評価制度の導入、残業労務の上司指示制度、女性の能力活用のための昇進準備期間の確保、春・秋に政策進捗状況等を市民に広報するレビューの実施、また空家の市による借上げ制度 (紹介・仲介以上の関与) など、民間意識を市政運営に活かす取り組みは養父市においても転換・利用の必要性を感じた。

議会先進事例報告として大津市議会が取り組む「議会ミッションロードマップ」は 4 年の任期間における議会の行動計画を「政策立案」「議会改革」2つの実行テーマから再分類化し工程を定めた計画図をもとに、検証や進捗確認を実施し活動指針を明確化するもの、また市民に公開し「説明責任」と「議会の見える化」に取り組む活動は地方自治における議会の存在意義を市民に明確化するとともに、議員活動はもとより「議会活動」の重要性を示すものであると感じた。

またその他の議会先進事例として「こども議会の開催事例」や「政務活動費の後払い方式の課題」などの発表があった。

